1 ・ 10 ・ 1 マイクロ伝熱 熱流体現象を分子 レベルから取り扱うマイクロ伝熱の研究は、主に 日本と米国を中心に盛んであり, Baltimore ワー クショップ(1)などが開催された.分子動力学法な どを用いた理論的な研究で, 超臨界流体(2), 凝縮 過 程(3-5) , フラーレン(6,7) , ハイドレート(8) , な どに関するシミュレーションが行われるとともに、 光 ・ 物 質 干 渉 (9,10)や 分 子 ・ 固 体 衝 突 (11)な ど の 理 解を目指した量子分子動力学法の開発も進められ た . 実験的な研究対象として , 氷スラリー(12), プラズマ(13-15), 薄膜生成(16), パルスレーザ加工  $^{(17)}$ が 挙 げ ら れ る . ま た , マ イ ク ロ ス ケ ー ル で の 実 験 的 解 析 手 法 と し て , EXAFS<sup>(18)</sup>, TOF 質 量 分 析 (19), 熱 電 対 AFM (20), 薄 膜 熱 電 対 (21)な ど が 試 み られている.

[丸山 茂夫 東京大学]

## 文 献

- (1) Chen, G 5, Microscale Thermophysical Engineering, 1-4, 267.
- (2) Tamba, J. 5, Microscale Thermophysical Engineering, 1-1, 19.
- (3) Carey, V. P. 5, Microscale Thermophysical Engineering, 1-1, 31.
- (4) Matsumoto, M. 5, Microscale Thermophysical Engineering, 1-2, 119.
- (5) 鶴田ら,機論 **63**-612, B, 2776.
- (6) 山口ら,機論,**63**-611,B,2398.
- (7) 丸山ら,機論,**63**-611,B,2405.
- (8) Hirai, S. 5, Microscale Thermophysical Engineering, 1-4, 267.
- (9) 芝原ら,機論,63-612, B, 2832.
- (10) Shibahara, M.5, Int. J. Heat Mass Transfer, **40**-13, 3209.
- (11) Zolotoukhina, T. N. 5, Microscale

  Thermophysical Engineering, 1-2, 127.

- (12) Grandum, S.ら、機論, 63-607, B, 1029.
- (13) Ishimaru, K. 5, Microscale Thermophysical Engineering, 1-2, 1997.
- (14) 岡崎ら、機論、**63**-610、B、2166.
- (15) 土方ら,機論, 63-613, B, 3055.
- (16) 土方ら,機論,63-605,B,261.
- (17) 伏信ら,機論,63-609, B,1741.
- (18) 大宮司ら、機論、63-615、B、3737.
- (19) Maruyama, S. 5, Microscale Thermophysical Engineering, 1-1, 39.
- (20) Nakabeppu, O.5, Microscale Thermophysical Engineering, 1-3, 201.
- (21) Yabe, A. 5, Microscale Thermophysical Engineering, 1-1, 53.